

**大学コンソーシアム富山 地域課題解決事業**  
**平成26年度 地域課題提案書**

自治体等名	朝日町	提案部局	商工観光課
地域課題名	ヒスイ海岸における観光動向調査		
地域課題の背景	<p>当町には、ヒスイの原石が打ち上げられるヒスイ海岸に多くの方々が訪れている。ヒスイ海岸を訪れる方が、どのような目的で来訪し、どのような行動をとるのか、また、満足・不満足に感じる点に対する認識が不十分である。今後、ヒスイ海岸周辺整備基本構想を策定するにあたり、より効果的なものとなり、交流人口の増加を図ることができるよう、動向等を把握したい。</p>		
事業の概要	<p>ヒスイ海岸を訪れる観光客の属性や動向、各種満足度などの調査を行い、観光客の動態やニーズなどを把握し、今後の観光施策推進のため、広く活用できるような基礎資料を取りまとめる。また、調査から得られるデータをもとに、満足度や満足度に影響を及ぼす要因などを多面的に分析し、全国的に成功している数々の「観光名所」における取組み等も参考にしながら、当町に合った、より効果的な観光戦略を考える。</p>		
事業実施に当たっての協働体制	<p><b>【自治体等の役割】</b>  自治体の関わり方については、どのような体制が必要か、今後高等教育機関と協議したい。</p> <p><b>【高等教育機関の役割】</b>  夏期のヒスイ海岸での現地調査（観光客の来訪状況や、観光客へのアンケート、インタビューによる調査等）と、その調査結果から考えられる有効な観光戦略、仕掛けの提案。</p>		
成果の活用方法	<p>越中宮崎駅を中心としたヒスイ海岸周辺活性化構想を考えるうえで、調査結果から来訪者のニーズを掴み、その現状や需要に見合った戦略、取組みを考える。また、観光戦略・仕掛けの提案を基に協議・検討を重ね、ヒスイ海岸周辺、さらには、朝日町全域の活性化や魅力度のアップを目指す。</p>		

# ヒスイ海岸における観光動向調査

( 朝 日 町 )

提案・指導教員 富山県立大学工学部環境工学科 教授 九里 徳泰

( 参 加 学 生 ) 田開寛太郎 ( 修士 2 年 )、尾形順成 ( 修士 1 年 )、大石直人 ( 4 年 )  
金樹千寛 ( 4 年 )、倉島光毅 ( 4 年 )

## 1. 課題解決策の要約

ヒスイ海岸を訪れる観光客の属性や動向、各種満足度などの調査を行い、観光客の動態やニーズなどを把握し、今後の観光施策推進のため、広く活用できるような基礎資料を取りまとめる。また、調査から得られるデータをもとに、満足度や満足度に影響を及ぼす要因などを多面的に分析し、当町に合った、より効果的な観光戦略を考える。

## 2. 調査研究 ( 企画や実施を含む ) の目的

観光客年別入込数を踏まえ、ヒスイ海岸を訪れる方が、どのような目的で来訪し、どのような行動をとるのか、また、満足・不満足に感じる点に対する認識、また今後、ヒスイ海岸周辺整備基本構想を策定するにあたり、より効果的なものとなり、交流人口の増加を図ることができるよう、動向等を把握することを目的とする。

## 3. 調査研究 ( 企画や実施を含む ) の内容

事前に朝日町商工観光課と調査項目を策定し、社会調査法に基づいた質問紙調査法を用い、ヒスイ海岸に来訪する人にアンケート用紙を渡し、自ら記入してもらう形式で実施。

### ①アンケート実施日

調査 1 ( 7 月 21 日 : 祝日, 海の日 )

調査 2 ( 8 月 2 日 : 土曜日 )

調査 3 ( 8 月 24 日 : 日曜日 )

### ②アンケート場所

宮崎・境海岸 ( ヒスイ海岸 )

### ③アンケート総数

計 153 件 ( 7 月 21 日に 83 件、8 月 2 日に 32 件、8 月 24 日に 38 件 ) である。

#### 4. 調査研究（企画や実施を含む）の成果

実施したアンケート調査の結果より考察されることを記述する。

- ・ヒスイ海岸に来訪する目的は、夏場は海水浴がメインとなっているが、海水浴シーズンが終わるとヒスイ探しが多くなる。
- ・ヒスイ海岸の利用者は20代、30代、40代の人が多く訪れていた。
- ・来訪者は県内県外から多く、朝日町内は少ない。宿泊客が多い時期に県外者が増える。
- ・交通手段は自動車が圧倒的に多いが、ヒスイ探しの場合は電車もわずかだがある。
- ・来訪回数は初めてが4割程度だが、リピーターも3～4割程度いる。
- ・情報入手先は知人からが多く、webも活用されている。口コミの重要性和webの充実が必要だ。
- ・利用目的は、海水浴シーズンには海水浴、それ以外はヒスイ探しが多し。海水浴シーズン以外の時期が長いことからヒスイ探し観光の振興に力を入れたい。
- ・利用人数は、総じて1人は少なく、海水浴の場合は5人以上と人数が多い場合がある。
- ・同行者の属性は、子供、配偶者と家族で来ることが多い。
- ・宿泊は、日曜日の調査では7～9割が日帰りであったが、海水浴シーズンの土曜日では日帰りは50%であった。土曜日の宿泊が多い日の宿泊地は「県内ホテル」53%「朝日町内民宿」「その他」18%「県内民宿」12%であった。日曜日では「キャンプ場」25%（調査1）、27%（調査2）の利用があった。
- ・来訪動機は、「水質がきれい」「海岸がきれい」が多く、海水浴シーズンの終わりでは「ヒスイが打ちあがる」が多い。
- ・他の海水浴場を含む本年中の来訪希望回数は、1～2回に多く分布していた。
- ・ヒスイ海岸に必要な施設は、「シャワー」「更衣室」「コンビニ」の順である。
- ・ヒスイ海岸の利用満足度は、海水浴シーズンで8割以上、海水浴シーズンの終わりでは6割であった。また「不満」と答えた人はいなかった。
- ・満足な点は、海がきれい。不満足な点は、設備が整っていないことであった。
- ・海水浴場の一般的な選好理由は、水がきれい、人が少ない。
- ・今後行きたい海水浴場は、富山県ヒスイ海岸、石川県千里浜が多く、ハワイ、沖縄周辺より多かった。
- ・ヒスイ海岸へのまた来訪したい理由は、海がきれい、人が少ないなどであった。

## 5. 調査研究（企画や実施を含む）に基づく提言

ヒスイ海岸には海水浴シーズンには県内外から海水浴を目的としたグループが、知人からの口コミやwebの情報を頼りに自家用車で訪れる傾向が調査結果により説明される。土曜日の場合は日帰りだけでなく県内の宿泊が多い傾向が分かった。来訪の理由は、水質がきれい、海岸がきれい、人が少ないことがあげられている。満足度は8割ととても高い。リピーターも3～4割確認できた。また、海水浴シーズンが終わるとヒスイ探しの観光客が訪れていることもわかった。

調査結果を総合した暫定的な提案は以下となる。

- ①海岸及び水質の美化維持に努めること（観光資源の保全）
- ②他の海岸の状況も鑑み、海水浴に必要な「シャワー」「更衣室」を設置すること（観光設備の拡充）
- ③口コミ、webを意識した観光広報戦略を行うこと（観光広報戦略の展開）
- ④土曜日の来訪者は宿泊をする傾向があるので、地元朝日町での宿泊の誘導策が必要（地元宿泊への誘導と倍増）
- ⑤通年（無雪期）のヒスイ探し観光の振興に力を入れる（ヒスイ観光振興施策の拡充）
- ⑥食事、お土産、ヒスイ探し等のグリーンツーリズムのガイドサービスなど来訪者がお金を使う場所がなく、観光収入の機会を逸している（観光収入の増加）
- ⑦キャンプ場利用客も一定数いるので、ヒスイ海岸とキャンプ場での共同イベントなどのプログラム整備（新たな観光プログラム開発）
- ⑧その他：安全安心に利用できるヒスイ海岸の対策ができていないか（安全安心対策：上越市上下浜海岸での水難事故例がある）

## 6. 課題解決策の自己評価

本調査研究より来訪者の満足度も高く、リピーターもいる。そして知人からの口コミを頼りに自家用車で訪れる傾向が調査結果により説明できる。つまり交流人口の増加につながる事が考えられるため、本調査研究の意味があったと評価できる。

# 事業評価報告書

## 1. 地域課題名

ヒスイ海岸における観光動向調査

## 2. 自治体名及び評価部局名

朝日町商工観光課

## 3. 課題の概要

当町には、ヒスイの原石が打ち上げられるヒスイ海岸に多くの方々が訪れている。ヒスイ海岸を訪れる方が、どのような目的で来訪し、どのような行動をとるのか、また、満足・不満足に感じる点に対する認識が不十分である。今後、ヒスイ海岸周辺整備基本構想を策定するにあたり、より効果的なものとなり、交流人口の増加を図ることができるよう、動向等を把握したい。

## 4. 解決策の提言に対する評価

ヒスイ海岸でのアンケート調査については、観光客への調査を目的とし、夏季期間中の実施を希望していたことから、契約から短い期間の中でアンケート項目の選定、調査の実施をしていただき感謝している。

アンケート調査の他、北陸地方の海岸情報の記載やワークショップの開催、首都圏などから大学生等を招聘しての現地調査など、様々な視点をとおして提言されており、また、提言自体が具体的に、実行することにより何に繋がるかも記載されているため、今後の施策を進めていく中で、大変参考になる内容の報告だと思う。